

令和元年度 事業報告

令和元年度次の事業を行った。

事業所	介護保険事業等	定員
本部(事務局)		
ケアハウス ビラおおだ	ケアハウス	50名
	通所介護 介護予防通所介護相当サービス 訪問入浴介護 介護予防訪問入浴介護	45名
	訪問介護 介護予防訪問介護相当サービス 障がい福祉サービス	
	居宅介護支援 介護予防居宅介護支援 介護予防ケアマネジメント	
大田市福寿園	養護老人ホーム 訪問介護サテライト事業(出張所)	50名
相愛保育園	保育所 一時預かり事業	120名
ビラあさやま	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	40名
	認知症対応型通所介護 介護予防認知症対応型通所介護	12名
ビラたかやま	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	45名
5事業所 本部(事務局) 除く	21	

基本理念

- ①地域社会に開かれた事業所(法人)づくり
- ②利用者本位の高品質なサービスの提供
- ③永続する経営基盤の確立

重点項目

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 人材育成・確保 | 4. 経営基盤の構築 |
| 2. 将来に向けての事業展開とサービス提供 | 5. 地域貢献計画 |
| 3. 施設・事業所の整備、管理計画 | 6. 計画に対する評価等 |

基本方針

福祉人材の確保が困難となっている中、多様かつ柔軟な雇用形態により、人材を確保していくため、積極的な情報発信と行動力で確保、定着する環境づくりを進めていく。

人材育成については、キャリアパスに基づくリーダー的人材の育成強化を進め、人材育成プログラムの柱である OJT(日常業務を通じた職員教育)の進捗状況を確認しながら更に経営的視点を持った職員の育成を目指す。

将来に向けての事業展開とサービス提供については、社会的な動向や現状課題等を確認しながら検討を進め、これまで実施してきた事業の特色づくり、魅力あるプログラムを活かし、永続する経営基盤の確立に向けた収入を維持していく。

令和元年度重点計画(方針)項目

I 人材育成、確保

1) 人材育成の推進

① 育成プログラムの充実

- ア 育成プログラムの進捗状況の確認
- イ 育成プログラムの実施
- ウ 人材育成支援策等の活用
- エ 職場復帰等プログラムの実施

② リーダー的人材のレベルアップの実施

- ア 経営的視点を持った職員の育成

③ 目標管理・キャリアパスの充実

- ア 目標達成に向けての課題整理
- イ 目標達成に向けての実施
- ウ キャリアパスの実施

④ 評価表等の活用による自己評価

- ア 評価表に基づき実施、評価
- イ 利用者アンケートの実施、評価

2) 職員研修体系の充実

① 職員基本研修体系の充実

- ア 職員研修基本計画による実施
- イ 事業所内研修の充実
- ウ 実践研究発表会の実施

② 専門性の充実

- ア 認知症ケア実践に対する職員の配置
- イ 連携による重度化への対応(医療的ニーズ等)
- ウ 専門性を有する職員の育成
- エ 実務経験を満たす資格取得の奨励
- オ 制度改正による資格取得の奨励
- カ 専門的資格取得等に対する支援の実施

3) 帰属意識の推進

① 帰属意識の推進

- ア 帰属意識の推進

② 働きがいのある職場環境の推進

- ア 職場環境整備の適正化(業務内容の把握・周知)
- イ 健康管理の充実(就労等の把握・周知)

③ 職員表彰の推進

- ア 職員表彰の推進(業務内容に伴う表彰)

4) 人材確保に向けた推進

①福祉系学校との関係の推進

ア 学校訪問、各種就職説明会等への積極的な参加

②実習生・ボランティアの積極的な受入れ

ア ボランティア・実習生の受入れ継続

イ 実習の質の向上（マニュアルの作成）

ウ ボランティアの育成（マニュアルに沿った指導）

③広報活動の推進

ア 情報の発信の継続

④職員採用に向けた推進

ア 非正規職員の雇用の検討、実施

イ 職員採用試験の実施

ウ 幅広い受験案内の配布（インターネットへの配信、登録）

⑤障がい者雇用の促進

ア 法定雇用人数の雇用

イ 就労のための環境の充実

⑥就業促進及び定着化

ア 就業促進及び定着化

イ 職員の処遇改善に向けての周知・実施

II 将来に向けての事業展開とサービス提供

1) 大田市福祉等整備計画に伴う事業展開の検討

①保育所指定管理受託の検討

ア 保育所指定管理受託の検討

②介護予防・日常生活支援総合事業の推進、評価

ア 介護予防・日常生活支援総合事業の推進、評価

2) サービス内容に関する評価と修正

①在宅・保育事業の特色づくり、魅力あるプログラムの評価

ア 魅力的で特色のある事業所づくりの取組み

②施設事業の特色づくりの推進

ア 施設事業サービスの特色づくりの取組み

③PRの強化推進

ア 効果的なPR方法の取組み

④地域包括ケアシステムに向けた事業の評価

ア 地域包括ケアシステムに向けた事業の検討

イ 制度改正に伴う事業展開の検討

3) リスクマネジメントの強化

①事故防止対策委員会の在り方検討

- ア 事故のない事業所づくり
- イ 事故防止対策の啓発推進

4) 事業体系の見直し、明確化

①養護老人ホーム大田市福寿園の建替えに伴う新たな事業展開の検討、及び計画作成

- ア 養護老人ホームの検討、及び具体的な施設整備計画の作成
- イ 在宅サービス事業展開計画の作成と方向性の明確化
- ウ 新たな事業展開による職員配置の検討、及び職員配置計画の作成

Ⅲ施設・事業所の整備、管理計画

1) 建物の長期維持を目的とした管理

①大規模修繕の計画的な実施

- ア I期の見直しとⅡ期の大規模修繕計画の作成と実施
- イ 建物維持管理計画の推進

②小規模修繕の実施

- ア Ⅱ期の小規模修繕の実施

2) 大型備品の整備

①大型備品導入の検討、実施計画書の作成

- ア I期の見直しとⅡ期の大型備品購入計画の作成と実施

②適正な備品管理

- ア 備品管理計画に基づく効率的な運用推進

Ⅳ経営基盤の構築

1) 目標達成に向けた推進

①課題の把握、分析、改善の検討

- ア 施設整備積立計画修正
- イ 施設整備に係る試算
- ウ 大規模修繕、大型備品整備に係る試算
- エ 介護報酬等の加算取得に向けた取組み
- オ 補助金の情報収集及び確保の研究
- カ 物品等の管理計画修正及び実施

Ⅴ地域貢献計画

1) 法人・事業所での計画実施

- ①計画による実施

- ア 地域貢献活動計画の実施
- イ 地域貢献費の予算化

VI計画に対する評価等

1)計画遂行状況確認

①中間評価の実施

- ア 進捗状況の評価
- イ 見直しに係る検討

1.本部(事務局)

今年度、重点課題に掲げるリーダー的人材のスキルアップを図るため、計画的な研修と現場での実践を強化するとともに、キャリアパスに沿った目標管理制度の見直しを行う。

人材確保及び定着に向けては、働きやすい職場環境づくり(障がい者、シルバー人材、非正規職員の雇用確保及び処遇改善)と安心安全な労働環境づくり(機器等の導入による業務効率化、ハラスメント対策)を進めていく。

各事業においては、特色づくりを明確にし、効果的なPRにより見せる化を行い、健全かつ適正な経営を永続していくため、創意工夫を凝らし、収入の維持に向け、取組みを進めていく。

施設の維持管理と必要な備品の整備については、中・長期計画及び社会福祉充実計画に沿って計画的に進めていく。

地域における公益的な取組みについては、それぞれの事業所が所在する地域ニーズに合わせた地域貢献計画に沿って進め、社会福祉法人としての使命を果たしていく。

リーダー的人材のスキルアップには、「労働管理、メンタルヘルス、接遇コミュニケーション、キャリアパス」について、講義とグループワークの4回の研修を実施し、後輩等の指導・育成、上位者支援の実践に活かし、研修のまとめを報告して、課題は次年度へと繋げた。

人材確保に向けて就職フェアへの参加、今年度より島根県福祉人材センター主催の県外保育士養成校就職相談会 in 広島に参加し、結果3名(保育士2名、介護士1名)の採用ができた。また、シルバー人材を中心とした13名の非常勤職員(運転手、調理補助員)を雇用し、働きやすい職場環境づくりを進めるとともに、職員の親睦や健康づくり対策を強化し、大田市健康づくり優良事業所市長賞を受賞した。

各事業の特色については、それぞれの事業所でサービスの見せる化を行うとともに、業務の効率化を図るため介護保険事業所に、まめネット及び通所介護事業所にタブレット端末を導入し、労働環境の整備を進めた。

公用車管理として全36台にドライブレコーダーを設置し、リスクマネジメントの強化を図った。また、その他修繕、備品等の整備は計画どおり行い、修繕は迅速に対応した。

中・長期計画に掲げる福寿園建替えに向けては7月より内部協議を始め、検討を進めた。

新型コロナウイルス対策については2月より施設長会議で対応を協議し、感染予防対策を進めるとともに、各事業所に必要な対策用品を整備した。

令和2年3月31日現在

職員配置状況

事業所名	ケアハウス ピラおおだ	ピラおおだ デイサービ スセンター	ピラおおだ ホームヘル パーステー ション	ピラおおだ 居宅介護 支援事業所	大田市 福寿園	相愛 保育園	ピラ あさやま	ピラ たかやま	合計
正規・再任	9	10	3	4	11	20	10	9	76
臨時	6	3	1	0	4	5	5	2	26
パート等	4	9	7	0	8	9	9	11	57
合計	19	22	11	4	23	34	24	22	159

事故、ヒヤリハット、気づき件数

事業所名	ケアハウス ピラおおだ	ピラおおだ デイサービ スセンター	ピラおおだ ホームヘルパー ステーション	ピラおおだ 居宅介護 支援事業所	大田市 福寿園	相愛 保育園	ピラ あさやま	ピラ たかやま	合計
事故	3	6	1	0	1	5	2	9	27
ヒヤリハット	7	26	8	6	11	27	16	36	137
気づき	196	115	56	93	162	94	160	227	1,103
車両事故	1	1	0	0	0	0	1	3	6

苦情受付件数

事業所名	件数	内容
ケアハウスピラおおだ	1	退所時の対応について
ピラおおだデイサービスセンター	1	電話対応について
大田市福寿園	1	公用車のあおり運転について
相愛保育園	1	環境整備時の草刈り機騒音について

ボランティア受入れ件数(延べ)

事業所名	ケアハウス ピラおおだ	ピラおおだ デイサービ スセンター	ピラおおだ ホームヘルパー ステーション	ピラおおだ 居宅介護 支援事業所	大田市 福寿園	相愛 保育園	ピラ あさやま	ピラ たかやま	合計
余興、作業 手芸、食育等	27	13	0	0	72	38	22	8	180

施設サービス(入所者状況)

事業所名	ケアハウスピラおおだ	大田市福寿園
入所者数	月平均 50名	月平均 50名
男性	11名	22名
女性	39名	28名
平均年齢	88.3歳	79.6歳

通所介護サービス(利用者状況)

事業所名	ビラおおだデイ	ビラあさやま (一般型)	ビラあさやま (認知症型)	ビラたかやま
1日平均利用人数	39.8名	30.3名	10.7名	36.1名

訪問サービス(利用者状況)

事業所名	ビラおおだデイ (訪問入浴)	ビラおおだ ホームヘルパー	ビラおおだ居宅
月平均利用人数	61.8件	介護599件、予防15件 障がい49件	介護168.7件 予防支援5件、予防ケア2.3件

保育サービス(園児状況)

クラス 年齢	いちご 0歳	りんご 1歳	みかん 2歳	ばす 3歳	ひこうき 4歳	ろけっと 5歳	合計
月平均園児数	12.1名	10.3名	28.6名	28.8名	23.8名	31.4名	135名

1. 理事会の開催状況

第149回理事会

- 月 日 令和元年5月31日
- 場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
- 出席者 理事5名 監事1名 本部2名 施設長4名
- 議 題 (1) 平成30年度事業報告について
(2) 平成30年度資金収支決算について
(3) 第55回評議員会(定時評議員会)招集の決定について
(4) 評議員選任・解任委員の選任について
(5) 苦情解決実施規程の一部を改正する規程の制定について
- その他 (1) 社会福祉充実計画平成30年度実績及び充実残高報告

第150回理事会

- 月 日 令和元年6月19日
- 場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
- 出席者 理事5名 監事1名 本部3名 施設長4名
- 議 題 (1) 理事長及び常務理事の選定について

第151回理事会

- 月 日 令和元年10月29日
- 場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
- 出席者 理事6名 監事2名 本部3名 施設長4名
- 議 題 (1) 相愛保育園管理規則の一部を改正する規則の制定について
- その他 (1) 上半期(4~9月)事業報告及び予算執行状況について

第 152 回理事会

- 月 日 令和 2 年 3 月 16 日
場 所 ケアハウスピラおおだ会議室
出席者 理事 6 名 監事 2 名 本部 3 名 施設長 4 名
議 題 (1) 令和元年度資金収支補正予算について
(2) 準職員等取扱規則の制定について
(3) 職員給与規則の一部を改正する規則の制定について
(4) 職員就業規則の一部を改正する規則の制定について
(5) 令和 2 年度事業計画について
(6) 令和 2 年度資金収支予算について
(7) 第 56 回評議員会招集の決定について

2. 評議員会の開催状況

第 55 回評議員会(定時評議員会)

- 月 日 令和元年 6 月 19 日
場 所 ケアハウスピラおおだ会議室
出席者 評議員 7 名 理事長 監事 1 名 本部 4 名 施設長 4 名
議 題 (1) 平成 30 年度事業報告について
(2) 平成 30 年度資金収支決算について
(3) 理事及び監事の選任について
その他 (1) 社会福祉充実計画平成 30 年度実績及び充実残高報告

第 56 回評議員会

- 月 日 令和 2 年 3 月 24 日
場 所 ケアハウスピラおおだ会議室
出席者 評議員 5 名 理事長 本部 4 名 施設長 4 名
議 題 (1) 令和元年度資金収支補正予算について
(2) 令和 2 年度事業計画について
(3) 令和 2 年度資金収支予算について

3. 令和元年度監査

- 月 日 令和 2 年 5 月 19 日
場 所 ケアハウスピラおおだ会議室
出席者 監事 2 名 理事長 本部 5 名 施設長 4 名
議 題 (1) 令和元年度事業報告について
(2) 令和元年度資金収支決算について
(3) 大田市福寿園預り金管理状況

会議等

月	会議等	月	会議等
4	施設長会議◎4/11	10	施設長会議◎10/24 理事会◎10/29 全事協中・四国ブロック会議(山陽小野田市) ◎10/17、18 中間報告会◎10/24
5	施設長会議◎5/30 監査会◎5/27 理事会◎5/31	11	施設長会議◎11/28 全事協全国大会(徳島市)◎11/7、8
6	施設長会議◎6/27 定時評議員会◎6/19 理事会◎6/19	12	施設長会議◎12/26
7	施設長会議◎7/25	1	施設長会議◎1/28 内部経理監査◎1/28
8	施設長会議◎8/29	2	施設長会議◎2/27
9	施設長会議◎9/26	3	施設長会議◎3/12 理事会◎3/16 評議員会◎3/24

法人全体研修

月	研修名	参加者
4	新人職員研修◎4/1	6名
5	リーダー職員研修◎5/21	24名
7	人権同和問題研修会◎7/11、18	148名
	メンタルヘルス研修会(リーダー職員研修)◎7/11	30名
8	新人職員研修◎8/22	6名
9	リーダー職員研修◎9/25	25名
	交通安全研修◎9/17	28名
11	リーダー職員研修◎11/25	24名
12	リフレッシュ研修◎12/12	17名

法人役員等研修

法人指導監査説明会◎7/2	監事研修◎12/12
苦情解決研修◎10/15	

事業所外研修

レディースリーダー研修◎10/23、24	重度化対応研修(老施協介護技術研修)◎8/3
全事協中国、四国ブロック研修(広島市) ◎11/21、22	認知症ケア専門研修◎9/2

事業所内研修 ◎各事業所内研修計画に基づき実施

事業所内研修	救急法研修
OJT(日常業務を通じた職員教育)	復命研修

施設サービス

2. ケアハウスピラおおだ(ケアハウス)

中・長期計画Ⅱ期二年目にあたり、継続して職員個々が自らの果たすべき役割と責任を十分認識し誇りや自信を持ち業務に取り組んでいく。

法人の基本方針のひとつ「人材確保・育成」に向けての働きやすい職場環境づくりには、就業時間の徹底と多職種連携を図り職員間のコミュニケーションを大切にし離職のない職場づくりに繋げる。

「どこの施設にも負けない特色づくり」として食を中心におき、安心安全で変化と楽しみのある食事の提供を行うとともに、重度化と多様化に対応する専門職としての生活相談・介護面での支援を行い、永く安心して生活出来るケアハウスピラおおだを目指す。

地域貢献に於いても、これまで積み上げた地域との関わりを活かし地域が求めるものは何かの探求心を忘れず、食を通じた事業の発展と新規事業「ふれあい食堂」に取り組んでいく。

「人材確保・育成」に向けての働きやすい職場環境づくりでは、コミュニケーションを大切にし多職種協働で連携しお互いに協力し合い、また、調理補助や入所者処遇特別加算を活用し業務内容を工夫しながら就業時間内で終わるよう努めた。主任は年4回のリーダー研修へ参加し、リーダーとしての自覚と責任感を持ち、主任間での連携を密にしながらOJTを通して職場全体のスキルアップへと繋げた。

「どこの施設にも負けない特色づくり」では、入居者の対面式で出来立ての食事を提供する「ピラ'sキッチン」や四季折々の地産地消弁当など食事に変化を付けて提供することが出来た。また、入居者懇談会を開催し行事や食事についての意見交換を行い、入居者が満足した生活が送れるよう支援した。認知症予防や閉じこもり予防の啓発をし、個々の身体状況に合った軽作業への参加、お茶会の実施、行事への参加を促した。朝の体操ではポイント制を導入し参加意欲を高め平均15人から20人の参加へと繋がった。

「見える化」から「見せる化」へホームページの活用だけでなく、ぎんざんテレビや島根日日新聞等のメディアを活用しケアハウスでの情報をより多くの人へアピールした。

「地域貢献」では川合まちづくりセンターや川合町民生児童委員と連携し4/9にふれあい食堂を開店した。食堂は年間延べ989名、配食弁当は111名の利用があった。また、川合町民生児童委員との会議を4回開催し現状報告と意見交換会を行い、非常食づくりではケアハウスが主となり年4回開催し「食」を通じて地域貢献を実施した。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	出岡地区自主防災会合同防災連絡会議◎4/23 野外散策(花見)◎4/3~5 ガーデンランチ(食育ボラとの交流)◎4/18	10	夜間総合避難訓練及び合同防災連絡会議(出岡地区自主防災会と合同)◎10/4 秋の行楽遠足◎10/21

			秋の味覚三昧(食育ボラとの交流) ◎10/8 パン作り(相愛、食育ボラとの交流) ◎10/25
5	火災避難消火訓練(デイ合同)◎5/30 焼き焼きパーティー(相愛との交流) ◎5/23 野外散策◎5/16、20	11	川合町文化祭への参加◎11/10 野外散策(銀杏のライトアップ)◎ 11/27 防犯訓練◎11/26 野外散策(紅葉見物)◎11/21 感謝を込めてフルコース(地域交 流)◎11/18 イルミネーション点灯式◎11/27
6	入居者懇談会◎6/27、28 ピラおおだ通信発刊◎6/17	12	忘年会◎12/19 餅つき◎12/12 そば打ち◎12/23 クリスマス会(出岡自治会子ども会 との交流)◎12/25 社交ダンス発表会◎12/25
7	七夕祭り◎7/5 初夏の炭火焼き(食育ボラとの交流) ◎7/19 納涼祭(地域交流)◎7/26	1	初詣(物部神社)◎1/1 新春ゲーム大会◎1/6 野外散策(五十猛グロ見物)◎1/14
8	そうめん流し(世代間地域交流)◎8/8 ブラジル講演会◎8/22	2	節分祭参拝(物部神社)◎2/3
9	敬老会◎9/12 川合町敬老会出席◎9/16 敬老週間のお出掛け◎9/18、19	3	ひなまつり喫茶◎3/4 ミニ運動会◎3/12 ケアハウスピラおおだ通信発刊◎ 3/9
その他	名画シアター◎2/26 買物外出支援◎月1回 ピラ'sキッチン◎4/19、7/3、7/9、 2/14 地産地消弁当◎4/26、8/27、10/15、2/7 誕生食◎月1回 お茶会◎週2 回 クラブ活動(園芸、脳トレ)◎随時 法話会◎月1回 (地域交流・貢献) 社交ダンス交流◎年12回 交通安全立哨運動◎5/13 ふれあい食堂◎毎週火、水、 金 配食弁当◎月1回 川合高齢者通いの場◎週1回 非常食づくり◎9/30、 10/11、1/20、2/20 出岡サロン◎月1回 地域の方を招いた手芸交流◎月1回		

3. 大田市福寿園(養護老人ホーム)

入園者が心地よく安心して過ごせる生活の場づくりを継続していく為に、重度化、多様化する入園者一人ひとりの生活状況、身体状況を把握し、適切な支援を行い、対応出来る職員の育成に取り組むとともに、お楽しみクラブの活動内容を充実させ、閉じこもり予防、体調管理に努め、生きがいのある生活が送れるよう支援する。

入園者の楽しみの一つである「食」については、毎日の食事、行事食、お茶会を充実させ、喜び、楽しみのある食事を提供する。

お茶会では、糖尿病や腎臓病などにより食事制限のある入園者に対して、カロリー、塩分等の計算を行い、他の入園者と一緒に安心して食べられるお菓子の提供を行う。

地域交流としての取組みの中で、川合町ふれあいの会、お楽しみクラブへの参加呼びかけ、福寿園祭に加え、感謝会（近隣住民参加呼びかけ）を計画し、地域との関わりを深め、意見交換の場を増やす。

大田市と入園者状況、待機者等の情報交換を継続し、入園者定員 50 名を維持していく。

入園者が心地よく安心して過ごせる生活の場となるよう、入園者一人ひとりの生活状況、身体状況に合わせ要介護状態の方にはケアマネジャー、介護保険サービス事業所等と連携を密にとり、サービス内容の調整、変更を行い、安定した状態で園生活が継続できるよう支援した。また、毎日実施した作業棟でのクラブ活動では、活動内容を充実させると共に、作業棟だけでなく集会所での DVD 鑑賞等も取入れ、閉じこもり予防と体調管理に努め、楽しみや生きがいのある園生活が送れるよう支援した。

事業所内外の研修等を通し、重度化、多様化する入園者へ適切な支援が出来るよう職員のスキルアップに取り組んだ。

「食」については、嗜好調査結果を毎日の食事、行事食等に反映させ充実を図った。毎週行ったお茶会では、糖尿病や腎臓病等により食事制限のある入園者に対しカロリー、塩分計算等を行い、他の入園者と一緒に楽しく食べられるお菓子を提供し喜ばれた。

地域交流として、川合町ふれあいの会の開催、手芸クラブへの参加呼びかけや 12 月に初めて実施した感謝会を通し、地域との関りを深めた。

大田市と入園者状況、待機者等の情報交換を行い、入園者定員 50 名を維持した。また、福寿園建替えに向けて事務局との会議の開催、松江市、益田市の施設見学を行い検討を進めた。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	花見お茶会◎4/5	10	福寿園祭 家族交流会◎10/20 お楽しみクラブ作品展示◎10/20 川合保育園、食育ボランティアとの角寿司作り◎10/25

5	園芸活動◎5/18 土砂災害訓練◎5/9	11	秋季法要◎11/14 川合町文化祭 作品展示◎11/9、10 福寿園川合 町ふれあいの会◎11/26
6	福寿園川合町ふれあいの会◎6/28	12	感謝会(地域交流) ◎12/11 クリスマスお茶会◎12/23 園芸活動◎12/21 餅つき◎12/26 正月飾り付け◎12/29
7	福ふく広報発行◎7/1 施餓鬼法要◎7/3	1	新年お茶会(食育ボランティア) ◎ 1/8
8	川合保育園との夏祭り◎8/29	2	節分お茶会◎2/2 お楽しみクラブ作品展示◎2/2 福ふく広報発行◎2/26
9	長寿を祝う会◎9/13 川合町敬老 会出席◎9/16 夜間総合避難訓練 (地域住民参加) ◎9/26	3	春季法要◎3/5 ひな祭りお茶会◎3/3 日中総合避難訓練◎3/11
その他	法話会◎月1回 ルーテル講話◎5/16、7/18、9/20、11/29、12/20、2/21 誕生会◎月1回 お茶会◎月4回 お楽しみクラブ◎毎日		

保育サービス

4. 相愛保育園

開所日数 363日(1月1日～1月3日まで休園)

サービス提供時間 7:00～19:30

中・長期計画に基づいた事業を実施し、職員一人ひとりが自分の職制や経験年数に応じて求められる役割を理解し、実行する。

職員同士の連携を密にし、協力体制を整えると同時に、業務の効率化を図ることで働きやすい職場環境を作り、人材確保と職員の定着につなげる。

今年度は、保育目標の一つである「感性豊かな子ども」に重点を置き、継続して行ってきた散歩や戸外遊びに加え、音楽や演劇等の鑑賞会を行い、園児や保護者が一緒に楽しみながら芸術に触れる保育活動や大田市の魅力である地域の自然を実感できる保育を展開し、乳児期から就学前までを通して、学びの土台づくりをする。また園の教育テーマである「和」を意識した活動として、習字を年長児だけでなく年中児から体験し、学びの意欲を育てられるようにする。

食育では、朝食をテーマにした保育や親子で触れ合いながら実践できる活動を実施し、「心身ともに丈夫な体づくり」を更に進めていく。

地域の方や保護者、関連施設等の協力を得ながら、様々な保育サービスを提供し、相愛保育園の魅力を高め、それらの情報を積極的に発信し、保護者に選ばれる保育園づくりを行う。

朝のミーティングやクラス主任会等で業務の進捗状況を継続して確認し、業務を円滑に進めることができた。また、マネジメント研修で学んだことを基に園内研修を行い、職員同士の信頼関係を築きやすくする方法やチーム力を高めること等について学び、職員間でのコミュニケーションの重要性を共通認識することができた。

「感性豊かな子ども」を育てるため、一年を通して大田の自然を活かした保育に取り組んだ。年長児は、散歩等で集めた自然物を使ったリース作りを親子で楽しみ、他のクラスは散歩先で見つけた蝶の幼虫を飼育し羽化までの様子を観察したことで、より自然への興味・関心を持つようになった。また連合音楽会、和太鼓、ピアノ演奏を鑑賞し、音楽への興味・関心を育てた。進級を意識した活動として、年中児は2月から書道を、年少児は10月から親子読書を始め、親子でのコミュニケーションを持つ機会を作るとともに、子どもたちの集中力や言葉への興味を少しずつ高め、表現力や想像力が豊かにすることができた。

食育活動では、7月と2月に朝食アンケートを実施し、結果を比較しながら栄養士が保護者研修会で朝食の大切さについて講演したことをきっかけに、朝食を食べる子どもが増加したことや、園で配布したレシピを参考に家庭で食事を作っていることなどを知ることができた。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	入園・進級式◎4/6 保護者会総会◎4/6 交通安全教室◎4/8	10	園外保育◎10/23 園児健康診断◎10/9 箱寿司づくり(食育ボラとの交流)◎ 10/17 パン作り(ケアハウス、食育ボ ラとの交流)◎10/25 ハロウィンパレ ード(地域交流)◎10/31
5	親子遠足◎5/17 焼き焼きパー ティー(ケアハウスとの交流)◎ 5/23 自然体験(樹木医さんと遊 ぼう)◎5/28	11	作品展◎11/27～29 四園交流◎11/15 保護者参観・保護者研修会◎11/9 自然体験(親子で制作活動)◎11/9
6	保護者参観・保護者研修会◎6/15 個人懇談◎6/17～21 虫歯予防 集会◎6/4 園児歯科検診◎6/12	12	餅つき会(地域交流・外国人交流)◎ 12/7 クリスマス会◎12/19 個人懇 談(ろけっと組)◎12/4～13
7	プール開き◎7/8 夏祭り(地域交流)◎7/20	1	親子茶会◎1/25 個人懇談(ろけっと 組以外)◎1/20～24 新春かるた会(祖父母参観)◎1/11
8	プール納め◎8/30	2	節分会◎2/3 雪あそび◎2/14 親子お楽しみ会◎2/8 なかよし茶会◎ 2/19

9	親子運動会◎9/28 お月見会◎9/13 相愛保育園交流会◎9/9、20	3	お別れ会◎3/18 なかよし遠足◎3/12 新入園児・継続児健康診断◎3/5 ひなまつり会◎3/3 パン作り教室◎ 3/18 卒園式◎3/28
月例 行事	誕生会◎月1回 身体測定◎月1回 避難訓練◎月1回 お茶のおけいこ◎5/14、6/18、9/24、10/8、11/19、12/10 習字のおけいこ(年長 児・年中児) ◎5/21、6/11、7/22、8/26、9/30、10/18、11/18、1/9、2/21、3/9 クッキング保育◎4/19、5/22、24、31、10/4、29、11/14、20、22、27、12/4、5、 11、18、23、1/8、10、29、2/3、14、3/3、6 すまいるくらぶ♪(地域交流) ◎5/31、7/12、8/2、9/13、10/24、11/1、12/13、1/17		
その他	法人内事業所との交流会◎5/23、6/13、14、9/9、20、10/25 一日保育士体験(各クラス) ◎7/22~26、8/19~23、9/2~6、10/7~11、10/15~18、 10/21~25 環境整備◎5/26、7/16、10/20 親子クッキング◎5/25、11/9、1/18 離乳食教室◎11/1 防犯訓練◎5/22、7/24、9/6、11/12 芸術鑑賞◎11/6、20、2/8、 20		

通所介護サービス

5. ビラおおだデイサービスセンター

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日 311日(日曜日及び1月1日~1月3日まで休業)

サービス提供時間 9:30~16:35

利用者の満足に繋がる「在宅生活が送れる喜び」「通う喜び」「創る喜び」の三つの喜びを目標に次のとおり取組んでいく。

利用者の重度化、認知症等の多様化するニーズに対し、専門的な知識、技術等を習得するため事業所内外の研修に参加し、個々のスキルアップに繋げ、人材育成基本方針をもとに人材育成に取り組む。

利用者ができる限り住み慣れた地域や在宅で自立した生活が送れる能力や筋力、歩行等の機能向上に向け、機能訓練指導員を中心に屋外訓練やノルディックウォーク等の取組みを行う。

ヒヤリハットや気づき、過去の事故などから事故の大小や発生頻度の多少からリスクの分析を行い、対策を行う。

ハード面の日常点検と備品管理を行い、安心・安全なサービス提供に繋げる。

利用者確保に向けて、情報発信と関係機関への訪問を行う。

地域貢献の取組みとしてケアハウスと一体となり実施し、地域から信頼され求められる事業所づくりを進めていく。

事業所内研修では、基礎知識だけでなく実際の個別対応について学び、日々の対応に活かした。また新人職員1名に対して主任介護員を中心にOJT(日常業務を通じた職員教育)を実施し、その他職員も指導助言をしながら自らのスキルアップに繋げた。

今年度は機能訓練として歩行能力維持向上を目的とし、ノルディックウォークを屋外だけでなく室内でも実施した。初めてされる方も多く、自宅でも実施したいという反響があり在宅生活での活用にも繋がった。

事故防止対策として過去の気づきやヒヤリハットを振り返り、予見力をつける事や介助方法を見直し、対応を再確認した。

公用車や備品等については日常点検を継続し、適切なサービス提供へ繋げた。利用者確保のため新規利用者獲得に向け、空き情報を実績配布や担当者会議時等でケアマネジャーへ伝えたり、利用率の分析や利用中止、再開など細かく利用状況を把握して対応した。ケアハウスと一体となり、納涼祭の実施や川合町文化祭へ参加し、地域の方との交流の機会を持った。

年間行事

月	行 事	月	行 事
4	花見会◎4/4~8	10	屋外訓練◎10/15~17
5	火災避難消火訓練(ケアハウス合同)◎5/30 屋外訓練◎5/14~20	11	家族交流会◎11/30 屋外訓練(紅葉)◎11/11~15 防犯訓練◎11/26 川合町文化祭出展、参加◎11/9 火災避難消火訓練◎11/4 感染症予防教室◎11/7~12
6	食中毒予防教室◎6/4、5、7 屋外訓練◎6/11~14 運動会◎6/18 家族交流会◎6/4、5 ピラおおだ通信発刊◎6/17	12	忘年会◎12/17、20 クリスマス会◎12/25
7	七夕会◎7/6 屋外訓練◎7/23~25、27	1	新年会◎1/4~7
8	納涼祭◎8/20、21 屋外訓練◎8/19、23、27	2	節分会◎2/3
9	敬老会◎9/16~21 相愛保育園交流会◎9/9、20 川合保育園交流会◎9/11 あゆみ保育園交流会◎9/26	3	ひな祭り会◎3/3
その他	足つぼマッサージ◎随時		

6. ビラあさやま

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日数 311日（日曜日及び1月1日～1月3日まで休業）

サービス提供時間 9：30～16：35

利用者一人ひとりの思いを理解し、住み慣れた自宅で自分らしい生活が最後まで継続して暮らせるように生活機能（心身機能、活動、参加）に重点をおき、暮らしの維持に結びつく目標、役割が継続出来る目標を設定し、自宅や地域で喜び、達成感の感じられる暮らしが送れるようその人の視点、立場に立った支援を実践する。

ボランティアの受け入れ、地域活動・行事に出掛け、住民との関わり、人との交流を作り出し、繋がり、信頼関係のもと各関係機関と連携して、地域に根差し、支える事業所づくりを行う。

中・長期計画Ⅱ期に基づき、事業所の方向性、目標、課題等を明確にし、互いに意見を出し合い、職員一人ひとりが責任を持って行動する。

気づいたことはすぐに他職員へ伝達し、実行へ移すことを継続していくとともに、自分の得意分野の能力を活かし、職員同士で理解、サポートし合うことで事業所全体のレベルアップをし、利用者に満足して頂くサービスを提供する。

サービス担当者会議や日々の会話、利用当日の様子観察、居宅訪問チェックシート等から、利用者の日頃の生活の様子を把握し、利用者のやりたい事等、具体的な目標の設定を行い、日頃から利用者の持っている力を生かし「自分でやる」「一緒に出来る方法を考える」等、利用者が主体性を持って目標の達成が出来るような支援を全職員で話し合いを繰り返しながら実践した。

地域交流として近隣町で行われている行事へ利用者と共に参加し、また地域のボランティアを積極的に受け入れ、地域との関わりを大切にした。

職員会議時に法人、事業所の方向性、取り組みについて職員へ周知し、具体的な目標値についても報告し、今後の取り組むべき事を話し合いにて実践した。

毎朝のミーティングで気づきやヒヤリハット、事故について振り返り、また気づいたことはすぐに気づきメモに記入し、他職員へ知らせ、共通認識のもとケアを行った。他事業所の事故についても、自事業所のこととして捉え、類似することについては改善策を考え、実施した。

日頃の業務は各担当制のもと、計画通り実践出来ているか進捗状況を確認し、滞っている事に対しては主任・中堅職員がアドバイスをし、円滑に業務が遂行できるようにした。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練(花見) ◎4/5、8、9	10	屋外訓練(紅葉) ◎10/9、19、25 波根保育園交流会◎10/16 運動会◎10/16、17 避難・消火訓練◎ 10/21 屋外食◎10/21～23
5	屋外訓練(花見) ◎5/4、6、7、8、9、 10 屋外訓練(ピクニック) ◎5/8 体力測定◎5/13～18 交通安全・特殊詐欺教室◎5/30	11	文化祭出展・参加(朝山、富山) ◎11/3、10 屋外訓練◎11/6、15、29 絵手紙教室◎11/20 体力測定◎11/12、13、14、16
6	相愛保育園交流会◎6/13 陶芸教室◎6/26 屋外訓練◎6/17	12	クリスマス会(波根保育園交流会)◎ 12/25 屋外訓練◎12/20 忘年会◎ 12/4 餅つき◎12/30 そば道場◎12/12 フラワーアレンジ メント(門松作り)◎12/27
7	七夕◎7/6 屋外訓練◎7/1、2 日常生活動作訓練◎7/22～24 家族介護教室◎7/31 食中毒予 防・熱中症予防教室◎7/25～27	1	初詣◎1/6 お茶会◎1/10
8	地域・家族交流会◎8/23 波根保育園交流会◎8/22 夏祭り◎8/22、23 地域交流活動(梅とり) ◎8/22	2	節分、食育教室(恵方巻作り) ◎2/5 屋外訓練◎2/21、22
9	敬老会◎9/16 食育教室◎9/17	3	ひなまつり会◎3/3
その他	喫茶◎月1回 クッキング◎月1回		

認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

開所日数 311日(日曜日及び1月1日～1月3日まで休業)

サービス提供時間 9:30～16:35

どんな暮らしをしてきたのか、何を大切にしてきたのか、利用者の人生を知り、現在出来ること、出来ないことを見極め、認知症の方の心理や体験に共感、理解をし、その人を中心とした自宅で自分らしく生活出来るよう、専門職として目(予見)と手(介助・触れ合い)と心(精神的な支え・寄り添い)を活用した認知症ケアを実践する。

中・長期計画Ⅱ期に基づき、事業所の方向性、目標、課題等を明確にし、互いに意見を出し合い、職員一人ひとりが責任を持って行動する。

気づいたことはすぐに他職員へ伝達し、実行へ移すことを継続していくとともに、自分の得意分野の能力を活かし、職員同士で理解、サポートし合うことで事業所全体のレベルアップをし、利用者に満足して頂くサービスを提供する。

利用者の現在の状況を良く知るために、興味関心チェックシート、MMSE(認知機能評価)を使用し、利用者や家族からの聞き取りだけでなく客観的な指標も用いた。把握した内容は多職種で検討を重ね、在宅での暮らしの維持に結びつく「役割づくり」ができるよう個別プログラムを実施した。本人が得意なことは任せ、病状等により苦手なことは支援することで、少しずつ自信に繋がれるよう取り組み内容の変更を行った。また、音楽や香り、園芸や回想等を通して、感覚や感情、行動への働きかけを行い、脳の活性化や精神的な不安を促す取り組みを継続して行った。

重度の認知症利用者については必要に応じて受診に同行し、主治医との連携を密に図り、個々の症状や状態に応じたケアを実施した。

ケア内容や取り組みは、サービス担当者会議、通信、ホームページを通じて多方面に発信し、専門的ケアの重要性について利用者、家族、各関係機関、地域の方へ周知を図った。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練(花見) ◎4/5、8、9	10	屋外訓練(紅葉) ◎10/9、19、25 波根保育園交流会◎10/16 運動会◎10/16、17 避難・消火訓練◎10/21 屋外食◎10/21～23 体力測定◎11/12、13、14、16
5	屋外訓練(花見) ◎5/4、6、7、8、9、10 屋外訓練(ピクニック)◎5/8 体力測定◎5/13～18 交通安全・特殊詐欺教室◎5/30	11	文化祭出展・参加(朝山、富山) ◎11/3、10 屋外訓練◎11/6、15、29 絵手紙教室◎11/20
6	相愛保育園交流会◎6/13 陶芸教室◎6/26 屋外訓練◎6/17	12	クリスマス会(波根保育園交流会) ◎12/25 そば道場◎12/12 忘年会◎12/4 屋外訓練◎12/20 フラワーアレンジメント(門松作り) ◎12/27 餅つき◎12/30
7	七夕◎7/6 屋外訓練◎7/1、2 日常生活動作訓練◎7/22～24 家族介護教室◎7/31 食中毒予防・熱中症予防教室 ◎7/25～27	1	初詣◎1/6 お茶会◎1/10

8	地域・家族交流会◎8/23 波根保育園交流会◎8/22 夏祭り◎8/22、23 地域交流活動(梅とり)◎8/22	2	節分、食育教室(恵方巻作り)◎2/5 屋外訓練◎2/21、22
9	敬老会◎9/16 食育教室◎9/17	3	ひなまつり会◎3/3
その他	回想法◎月2回 音楽療法◎随時 園芸療法◎随時 アロマセラピー◎随時 喫茶◎月1回 クッキング◎月1回		

7. ビラたかやま

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日数 311日(日曜日及び1月1日～1月3日まで休業)

サービス提供時間 9:30～16:35

利用者の住み慣れた地域での暮らしを維持・実現出来るよう常に「在宅での暮らし」を意識した支援を行い、情報の収集と発信をし、地域に根付いた、地域に必要とされる施設運営を行う。

楽しみのある「食」の取組みを継続し、体調管理を進め、専門職による日常生活に直接関わる筋力、可動域等の機能訓練を提供し、趣味活動、社会参加へと生活の質・意欲の向上に繋がるサービスを提供する。

地域貢献の一環として、認知症への理解が地域に広まっていくような取組みを行うとともに地域のニーズ把握と積極的な情報発信を行っていく。

事業を通して中・長期計画Ⅱ期の重点となる経営的視点を持ち事業を推進できるリーダー的職員の育成に取組み、24年目を迎える施設の整備も並行して実施することで働きやすく、働き続けられる事業所づくりを行っていく。

地区サロンとの継続的な交流、民生児童委員会議、地域の行事への参加を通して、地域のニーズの把握や情報発信の場を設け、2月には居宅介護支援事業所と連携し高山小学校で認知症サポーター養成講座を初めて開催し、福祉や認知症について理解してもらうよう啓発した。

特色あるサービスの取り組みとして、自宅での生活に視点を置いた活動や食への取り組みを継続し、自宅でもできる体操や定期的なクッキングの実施により、ご利用者が主体的に関われる活動を行った。

人材育成について、リーダーは研修会に参加し、学んだ事や課題に対する取り組みを現場で実践する事でスキルアップを図った。また、施設整備では平行棒の買い替え、日本財団の補助金を活用した公用車の整備や計画的及び緊急修繕を行い働きやすい職場環境づくりに努めた。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	花見◎4/11 屋外訓練◎4/8、9、10、 13	10	運動会◎10/15 水上保育園交流会◎ 10/10、15 感染予防教室◎10/1 屋外訓練◎10/14、17、18、21
5	水上保育園交流会◎5/29 屋外訓練 ◎5/14 ビラたかやま通信発刊◎ 5/20	11	文化祭出品、見学◎11/23 屋外訓練 ◎11/20 体力測定◎11/4～9
6	避難消火訓練(第1回目)◎6/18 脱水予防教室◎6/19、20 体力測定◎ 6/24～29 相愛保育園交流会◎6/14	12	忘年会◎12/9～11 餅つき◎12/23 クリスマス会◎12/24 避難消火訓練(第2回目)◎12/4
7	七夕◎7/6 そうめん流し◎7/16、 17、19	1	新年会◎1/8 初詣◎1/15、17、18 お 茶会◎1/8 正月遊び◎1/6～8 ビラ たかやま通信発刊◎1/21
8	水上保育園交流会◎8/7 家族交流会(夏祭り)◎8/9	2	節分◎2/3
9	敬老月間◎9/12～18 お茶会◎9/13	3	ひな祭り◎3/3
その他	プチカフェ◎月1回 バイキング食◎月1回 交通安全詐欺防止研修◎6/26 認知症サポーターキャラバン(高山小) ◎2/21		

訪問サービス

8. ビラおおだデイサービスセンター

訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護

ターミナルや医療依存度が高い状態で在宅生活されている利用者が、安心して利用できるように専門性を持って入浴介護を行う。

職員個々のスキルアップに繋げる為に職員研修計画を基に介護技術等の研修を実施する。

ヒヤリハットや気づき、過去の事故などから事故の大小や発生頻度の多少からリスクの分析を行い、リスクについて対応策を行う。

日常点検と備品管理、衛生管理を行い、安心して入浴出来る環境づくりを行い、利用者や家族が満足するサービスを提供する。

居宅介護支援事業所に空き情報や訪問入浴の魅力等の発信及び利用者の訪問時の様子等の状況報告を居宅介護支援事業所にタイムリーに行い、信頼され必要とされる事業所づくりを行う。

利用者が重度の方であるため、職員間で訪問前に移乗等の注意点や前回訪問時の状態を再確認しサービス提供を行った。また、ターミナルの方や医療依存度の高い方へは、安全に入浴できるよう注意し、医療面は看護師、介護面は介護員が中心となり勉強会を実施して、基本的な入浴方法や利用者の移乗方法の見直しを行い対応するとともに、体調不良時には主治医と連携を取りながら実施した。

リスク、衛生面から入浴時の使用備品等の日常点検、気づきなどを挙げながら事故防止に取り組んだ。

居宅介護支援事業所に対し、空き情報の発信、初回利用時や訪問時の身体状況等をタイムリーに報告をし信頼関係を構築するよう努めた。

9. ピラおおだホームヘルプステーション

訪問介護・介護予防訪問介護相当サービス・障がい福祉サービス

特定事業所として、常に利用者の立場に立ち各関係機関と連携を図りながら質の高いサービスを提供し、利用者が住み慣れた地域または施設で暮らせるよう支援していく。

訪問時間の調整など職員が働きやすい環境の整備を進め、安心して長く勤められる事業所づくりを目指していく。

利用者の多様なニーズ(認知症、ターミナルケア、重度化対応)に対応していくため専門的な介護技術の向上と知識の習得、利用者又は家族への助言、相談など、ヘルパーとしての個別対応能力の向上を図り、その中で一人ひとりが日々の業務の中で気づきを共有しながらリスクマネジメントに取組み、選ばれる事業所づくりを推進していく。

経営基盤の構築に向け、収入を維持していくため、ケアハウス、養護老人ホームの施設機能を活かし、訪問介護サービスの提供を維持していくとともに、ケアハウス、サテライトとの連携を図り、柔軟かつ迅速な対応により入所者の安心安全な生活を支援していく。

利用者の多様化するニーズへの的確な対応のため、アセスメント、モニタリングを実施し、身体等の状況の変化があれば、その都度居宅介護支援事業所との連携を図り、適切なサービス提供を実施した。また緊急時の訪問やターミナルケア等にも柔軟な対応を行った。柔軟な対応、高品質なサービス提供の維持、スキルの向上のための研修会への参加、勉強会(認知症、ターミナルケア、重度化対応等)を実施した。

利用者及び家族に対し、サービスの提供方法等について理解しやすい説明に心がけ、訪問介護計画に基づいて適切にサービス提供を行った。

働きやすい職場環境づくりとして、訪問時間の見直しや細かな調整、パート職員の働き方や時間の希望の反映、またコミュニケーションを大切に、相談しやすい雰囲気になるよう職員への声かけを重視し業務に取り組んだ。

日々の業務の中で挙げた、気づきとヒヤリハットについて、職員会議を通じて対策を話し合い共有した。また個別マニュアルの変更も行った。

ケアハウス、養護老人ホーム入所者のサービス提供については、体調や身体状況の変化に応じた、迅速かつ柔軟にヘルパー派遣ができるよう、居宅介護支援事業所、サテライト事業所との連携を密にし、サービス提供に努めた。

10. ビラおおだ居宅介護支援事業所

居宅介護支援・介護予防居宅介護支援・介護予防ケアマネジメント

特定事業所として、看取り又は医療依存度の高いケースに積極的に取組み、医療の専門性を高める。

専門的知識を学ぶ外部研修への参加、主任介護支援専門員確保の為研修の受講、事業所内では毎週のケース検討会議を有効に活用し、全体のスキルアップを図る。

人材育成に向けては、新人ケアマネジャーの育成プログラム及び指導マニュアルの見直し、実習生の受入れ研修マニュアルを作成し、活用を進めていく。

魅力ある事業所として事業所アンケートを踏まえ、サービス事業所との連携強化、相談しやすい関係づくりへ積極的に取組む。

法人内サービス事業所と随時検討を行い、サービスの質の向上に向けて一体となって取組むとともに今後の社会情勢等の変化、推移を理解し、必要な情報は積極的に法人内に情報発信する。

経営基盤の構築に向けては、介護給付目標件数を目指し、状況に応じて予防プランを受入れ、集中減算要件に留意し、社会福祉士や看護師などの専門性を活かした支援をPRして健全な事業を推進する。

看取り期に向けたサービス調整が必要な利用者を4件、在宅での看取りを4件担当した。これらの看取りや医療依存度の高いケースは、週1回の事例検討会で経過の確認や今後配慮すべきことを重点的に検討し、安心して在宅での介護が続けられるよう支援した。

大田市立病院の認定看護師による感染症に対する研修会、難病研修、主任介護支援専門員研修等、外部研修を計画通り受講し、専門的知識の習得やスキルアップ向上に取り組んだ。

人材育成に向けて新人ケアマネジャー教育マニュアルを作成した。また、実務研修見学実習マニュアルを見直し、3名の実習者を受け入れて効率的な見学実習を行った。

大田市地域ケア会議や大田市地域福祉推進支援機関実務者会議に個別ケースを提出し、多職種からの指導や助言を受け、一人暮らしの高齢者が抱える地域課題や解決のための提案等を行った。

サービス事業所との連携を強化し相談しやすい関係づくりに努め、他事業所などで得た気づきや研修会等で得た新たな情報や社会情勢については、積極的に法人内事業所に情報提供した。また、法人新人職員研修では認知症サポーター養成講座を実施した。

毎月の空き情報を公開し、新規利用者月平均4.1件を受け入れ目標件数をクリアした。